

院親王、關白大臣已上、黃金物打之、大納言、中納言、大將、赤銅散物ノ金物打之、自餘人々、皆鐵金物打之、

榻ヲバ、左右轅ノ下ヨリ、隨有便宜立之、貴人ハ前駐ノ役、普通俗家ハ雜色役、僧中ハ大童子役也、

〔物具裝束抄〕一榻事  
黃金物、大臣用之、散金物、大將用之、黑金物、納言以下公卿用之、

〔蛙抄〕車輿、榻間事

黃金物ハ大臣必用之、何ノ車モ相通、但半部車或散物、散金物ハ、納言大將用之、半部網代、八葉、皆同之、

〔海人藻芥〕車之事

榻、俗親王大臣以下、僧中は僧正以下、僧綱皆用之、

〔九條家車圖〕公卿時召之

網代○中、御榻、金物塗籠

〔西園寺家車圖〕納言大將半部車

一榻、散物金物、赤銅、網代、并八葉之時、猶用此榻、當家如此、

〔枕草子〕十一、西の對に、殿道○藤原、すませ給へば、宮女○道隆、にもそこにおはしまして、まづ女房ども

車にのせさせ給ふを御覽す、○中、みなのはてぬれば、引出て二條のおほちに、まぢたて、物見

ぐるまのやうにて、たてならべたるいとおかし、

〔後二條關白記〕寛治七年四月廿一日丁卯、著社頭○賀、御車立、鳥居南懸榻、予○藤原、以下源大納言

連立車云々、置榻於轅中、

〔源平盛衰記〕十、中宮御産事

御産○高倉中宮、ナラズ、二位殿○德、心苦シク思給テ、一條堀川辰橋ニテ、橋ノ東ノ爪ニ、車ヲ立サ